

## イージーオープン缶は<sup>いち</sup>1・<sup>に</sup>2・<sup>の</sup>3で

- 怪我をしないためのポイント -

『開けにくかったので力を入れたら一気に開き、缶を押さえていた手を数針縫う怪我をした。』  
イージーオープン缶（プルトップ式缶詰）は缶切りが不要という利便性が受けている反面、缶詰を開ける際の事故に繋がっており、当センターにも毎年相談が寄せられています。  
このような事故の中にはふたに表示してある「あけ方」に従っていれば防げたものもあるのですが、操作が単純であること、缶の小さなスペースに小さな文字でかかれていることから、あまり読まれていないのが現状のようです。  
そこで、開け方により、缶のふたの開け易さにどのような違いがあるかテストしましたので、情報提供いたします。

### 消費者へのアドバイス

缶で怪我をしないために次の点に注意しましょう！

- (1) リングは 90°までしっかりと引き上げましょう。途中までではほとんど効果がありません。
- (2) ふたの真ん中を親指で押さえ、ゆっくりと開けましょう。
- (3) 缶とふたの切り離しは、ふたを前後に動かして行いましょう。
- (4) どうしても不安な場合は、缶切りを使って開けましょう。

1  
2  
3



1 90°までしっかりと



2 親指で押さえ、ゆっくりと



3 ふたを前後に動かして

### テスト結果

- (1) リングを引き上げずにいきなり開けた場合と 45°まで引き上げた場合では缶を開けるのに必要な力に差は見られなかった。
- (2) リングを 90°に立ててから缶を開けると、いきなり引いた場合に比べて缶を開けるのに必要な力が大幅（約 3 ~ 6 割）減少し、24N の力で開けることが出来るものもあった。
- (3) 缶を開ける側の手の親指でふたの中心付近を押さえると、親指がストッパの役割を果たし、『ふたが一気に開いてしまう』ことを防ぐ効果が期待できる。
- (4) 缶とふたを切り離すときは引っ張るのではなく、ふたを前後に数回動かすことで切離し力が小さくなるうえ、急な動きにならないので安心感が増す。

問合せ先：東京都消費生活総合センター技術支援課  
電 話：03-3433-8563